



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月5日

上場会社名 株式会社ジャムコ 上場取引所 東
 コード番号 7408 URL http://www.jamco.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大喜多 治年
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 執行役員 (氏名) 大倉 敏治 (TEL) 042-503-9145
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日~平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	19,812	△3.2	△1,100	—	△1,711	—	△1,150	—
28年3月期第1四半期	20,467	33.9	2,979	196.8	3,014	247.1	2,097	182.5

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △1,615百万円(—%) 28年3月期第1四半期 2,281百万円(233.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	△42.89	—
28年3月期第1四半期	78.21	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	88,596	25,513	27.9
28年3月期	92,284	28,202	29.7

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 24,756百万円 28年3月期 27,363百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	0.00	—	35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日~平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	41,960	△1.4	2,382	△39.1	2,255	△43.4	1,423	△47.1	53.05
通期	88,123	△3.8	5,525	△37.2	5,265	△36.1	3,312	△35.9	123.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期1Q	26,863,974株	28年3月期	26,863,974株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	38,690株	28年3月期	38,635株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期1Q	26,825,298株	28年3月期1Q	26,825,423株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P.4「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間は、中国の経済成長が減速し新興諸国の景気回復が鈍化するなど先行きに不安を抱えながらも、米国の景気回復が進み、日本及びユーロ圏の景気も緩やかな回復基調が続くなど、世界経済は概ね堅調に推移しました。しかし、6月下旬には英国のEU離脱が決定したことから、世界的に株価は暴落し、為替市場ではポンドが歴史的に最安値をつける一方、円は急騰して一時的に100円/米ドルを割込むなど、今後の世界経済への影響が懸念される状況となりました。

航空輸送業界では、世界的な航空需要の拡大と原油安が追い風となり、エアラインの収益改善が進む経営環境が続いています。又、大手航空機メーカーでは、航空機需要の急激な増加に対応して、主力小型旅客機の生産増強に向けた取組みを進める一方、ボーイング787型機やエアバスA350型機といった燃料効率の良い中型旅客機の生産も高水準を維持しており、生産を分担するサプライヤーである当社においても繁忙な状況が続いています。

こうしたなか当社グループでは、航空機内装品等製造関連においては、787関連内装品の生産量増加に対応しつつ、生産効率改善に向けた取組みを進めました。又、航空機シート事業の生産体制の安定化に努めると共に、コスト削減の取組みを進めました。

航空機器等製造関連においては、炭素繊維構造部材の新規品目であるA350型機向け貨物室床下構造部材の生産体制を早期に安定化するための取組みを進めました。

航空機整備等関連においては、飛行安全の確保と品質向上の取組みを継続すると共に、受注回復に努め生産効率改善に向けた取組みを進めました。

これらの状況に加えて、当第1四半期連結累計期間では、前年同期に対して為替レートが円高で推移したことによるドル建て売上高の目減り、為替レートが大きく円高に振れたことによる第2四半期以降の完成工事に対する工事損失引当金の増加及びドル建て債権等に係る為替差損の発生など、為替の円高による影響を大きく受けた結果、当第1四半期連結累計期間の連結経営成績は、売上高 19,812 百万円（前年同四半期比 654百万円減）、営業損失 1,100百万円（前年同四半期は 営業利益 2,979百万円）、経常損失 1,711百万円（前年同四半期は経常利益 3,014百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失 1,150百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益 2,097百万円）となりました。

グループ全体の販管費、営業外損益、特別損益の状況は次のとおりです。

販売費及び一般管理費は、保証工事費の増加等により2,322百万円（前年同四半期比 20百万円増）となりました。

営業外損益は、急激な円高によって為替差損576百万円を計上したことなどにより、611百万円の損（前年同四半期は、34百万円の益）となりました。

特別損益は、固定資産処分損等により、12百万円の損（前年同四半期は、10百万円の損）となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

[航空機内装品等製造関連]

当事業では、787型機向け製品やシートの出荷増加などがありましたが、為替相場が円高で推移したことによる影響を大きく受け、外貨建売上高の減少、工事損失引当金の増加による売上原価の増加、又、営業外の為替差損が発生したことなどにより、前年同四半期に比べて売上高はやや減少し、経常損失となりました。

この結果、航空機内装品等製造関連は、売上高 16,894百万円(前年同四半期比 238百万円減)、経常損失 1,632百万円(前年同四半期は、経常利益 2,758百万円)となりました。

[航空機器等製造関連]

当事業では、受注は順調に推移したものの、顧客先の都合による納期変更、為替相場が円高に推移したことによる外貨建売上高の目減りなどにより、売上高は前年同四半期に比べ僅かに減少しました。又、炭素繊維構造部材の新規品目の原価が予定より増加したことなどから、経常損失となりました。

この結果、航空機器等製造関連は、売上高 1,579百万円(前年同四半期比 7百万円減)、経常損失 28百万円(前年同四半期は経常利益 214百万円)となりました。

[航空機整備等関連]

当事業では、機体整備において一部の工事が第2四半期以降へ納期変更になり、又、計画外の特需があった前年同四半期に比較して作業量が減少したことなどにより、前年同四半期に比べて売上高は減少し、経常損失となりました。

この結果、航空機整備等関連は、売上高 1,338百万円(前年同四半期比 408百万円減)、経常損失 51百万円(前年同四半期は経常利益 37百万円)となりました。

[その他]

その他の区分には、連結子会社の(株)オレンジジャムコと(株)ジャムコテクニカルセンターの事業を含んでいます。なお、(株)ジャムコテクニカルセンターは、平成28年3月31日付で解散し現在清算手続きを進めています。

この結果、その他の区分では、売上高 0百万円(前年同四半期比 0百万円減)、経常利益 1百万円(前年同四半期比 2百万円減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産・負債・純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は88,596百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,687百万円減少しました。内、流動資産については、受取手形及び売掛金の減少(前期比 3,821百万円減)、原材料及び貯蔵品の減少(前期比 969百万円減)等により流動資産合計で前連結会計年度末に比べ3,599百万円減少しました。又、固定資産については、当第1四半期に本社移転等の設備投資を行いました。その他の投資案件が少なく、為替が円高に振れたことによる海外資産額の減少や固定資産の減価償却などにより固定資産合計で前連結会計年度末に比べ88百万円の減少となりました。

負債合計は63,083百万円となり、前連結会計年度末に比べ998百万円の減少となりました。主な要因

は、賞与引当金の増加(前期比 960百万円増)、工事損失引当金の増加(前期比 1,512百万円増)が
ありましたが、支払手形及び買掛金の減少(前期比 1,207百万円減)、短期借入金の減少(前期比
1,407百万円減)、未払法人税等の減少(前期比 1,074百万円減)等によるものです。

純資産合計は25,513百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,689百万円の減少となりました。主な
要因は、利益剰余金の減少(前期比 2,223百万円減)等によるものです。この結果、自己資本比率は
27.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループを取り巻く市場環境は、旺盛な航空需要や原油安により堅調に推移するものと見込ん
でいます。一方、6月下旬に英国が欧州連合(EU)を離脱したことにより為替相場が急騰し、当社の
今期の計画上の想定レート110円/米^{F_{us}}に対して大幅な円高となりました。このため、当第1四半期連結
累計期間末では、第2四半期以降完成する工事の採算見積が悪化して多額の工事損失引当金を計上
したことなどにより、当第1四半期連結累計期間は営業赤字となりました。第2四半期以降については、
引き続き為替動向を注視すると共に、コスト削減をはじめとした諸施策を実行して業績の回復に努めて
まいります。従って、現時点において、第2四半期連結累計期間及び連結会計年度の業績予想に変更
はありませんが、今後業績予想に修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。なお、業績
予想の前提となる8月以降の為替レートは110円/米^{F_{us}}としております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱
い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月
1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更してお
ります。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

(追加情報)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28
日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,479,003	3,975,909
受取手形及び売掛金	20,232,940	16,410,951
商品及び製品	580,002	502,585
仕掛品	22,938,144	23,513,572
原材料及び貯蔵品	18,691,439	17,721,590
その他	6,714,549	6,911,847
貸倒引当金	△4,501	△4,662
流動資産合計	72,631,578	69,031,794
固定資産		
有形固定資産	14,496,373	14,444,135
無形固定資産	1,213,884	1,268,559
投資その他の資産	3,942,502	3,851,969
固定資産合計	19,652,760	19,564,664
資産合計	92,284,339	88,596,458
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,216,137	14,009,090
短期借入金	22,374,049	20,966,306
未払法人税等	1,598,026	523,971
賞与引当金	1,894,715	2,855,308
工事損失引当金	1,827,438	3,339,636
その他	8,832,547	8,952,307
流動負債合計	51,742,914	50,646,620
固定負債		
長期借入金	5,100,000	5,100,000
役員退職慰労引当金	154,939	126,099
執行役員退職慰労引当金	80,869	95,244
退職給付に係る負債	6,738,093	6,737,525
環境対策引当金	6,887	6,887
その他	258,316	370,909
固定負債合計	12,339,105	12,436,666
負債合計	64,082,020	63,083,287

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,359,893	5,359,893
資本剰余金	4,367,993	4,367,993
利益剰余金	17,684,729	15,461,223
自己株式	△30,452	△30,605
株主資本合計	27,382,163	25,158,505
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	87,484	70,760
為替換算調整勘定	214,971	△172,946
退職給付に係る調整累計額	△320,734	△300,299
その他の包括利益累計額合計	△18,278	△402,485
非支配株主持分	838,434	757,151
純資産合計	28,202,319	25,513,171
負債純資産合計	92,284,339	88,596,458

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	20,467,304	19,812,450
売上原価	15,185,682	18,590,363
売上総利益	5,281,621	1,222,087
販売費及び一般管理費	2,301,681	2,322,212
営業利益又は営業損失(△)	2,979,940	△1,100,125
営業外収益		
受取利息	260	768
受取配当金	2,286	2,720
為替差益	36,254	-
持分法による投資利益	6,201	7,334
保険事務手数料	2,261	2,264
助成金収入	56,756	49,886
その他	3,561	17,114
営業外収益合計	107,580	80,088
営業外費用		
支払利息	63,837	70,318
為替差損	-	576,733
その他	9,067	44,624
営業外費用合計	72,905	691,676
経常利益又は経常損失(△)	3,014,615	△1,711,713
特別損失		
固定資産処分損	8,579	6,426
本社移転費用	-	6,288
その他	1,522	-
特別損失合計	10,102	12,715
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	3,004,512	△1,724,428
法人税、住民税及び事業税	1,041,877	380,797
法人税等調整額	△157,108	△946,475
法人税等合計	884,769	△565,678
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,119,743	△1,158,750
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支 配株主に帰属する四半期純損失(△)	21,817	△8,257
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会 社株主に帰属する四半期純損失(△)	2,097,926	△1,150,492

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,119,743	△1,158,750
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16,995	△16,724
為替換算調整勘定	129,866	△446,592
退職給付に係る調整額	8,484	20,434
持分法適用会社に対する持分相当額	6,424	△14,349
その他の包括利益合計	161,771	△457,231
四半期包括利益	2,281,515	△1,615,982
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,236,101	△1,534,701
非支配株主に係る四半期包括利益	45,414	△81,280

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	航空機内装品 等製造関連	航空機器等 製造関連	航空機整備等 関連	計		
売上高						
外部顧客への売上高	17,132,785	1,587,137	1,747,365	20,467,287	16	20,467,304
セグメント間の内部売上高 又は振替高	72,370	5,394	58,685	136,450	33,667	170,117
計	17,205,155	1,592,532	1,806,050	20,603,738	33,683	20,637,422
セグメント利益	2,758,983	214,636	37,433	3,011,053	3,561	3,014,615

(注) 「その他」の区分には、関係会社の(株)オレンジジャムコ及び(株)ジャムコテクニカルセンターの事業を含んでおります。(株)オレンジジャムコは企業の社会的責任の一つである障がい者の雇用促進のための特例子会社であり、当社工場内の補助的作業を行っております。又、(株)ジャムコテクニカルセンターは新技術、新製品の研究開発を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	3,011,053
「その他」の区分の利益	3,561
四半期連結損益計算書の経常利益	3,014,615

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	航空機内装品 等製造関連	航空機器等 製造関連	航空機整備等 関連	計		
売上高						
外部顧客への売上高	16,894,444	1,579,249	1,338,747	19,812,442	8	19,812,450
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,988	839	18,158	20,986	22,751	43,738
計	16,896,432	1,580,089	1,356,906	19,833,428	22,760	19,856,188
セグメント損失(△)	△1,632,901	△28,856	△51,248	△1,713,007	1,294	△1,711,713

(注) 「その他」の区分には、関係会社の㈱オレンジジャムコ及び㈱ジャムコテクニカルセンターの事業を含んでおります。㈱オレンジジャムコは企業の社会的責任の一つである障がい者の雇用促進のための特例子会社であり、当社工場内の補助的作業を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	△1,713,007
「その他」の区分の利益	1,294
四半期連結損益計算書の経常損失(△)	△1,711,713

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。